

## 第9回辰野町入札等審査委員会次第（会議録）

平成23年 5月30日（月）  
午前10時00分～  
役場第7・8会議室

### 1. 開 会

（事務局）

第9回辰野町入札等審査委員会を開催します。

### 2. 委員長あいさつ

（委員長）

辰野総合病院がいよいよ着工したが、詳細については以前の委員会で話があり関心を持っていると思う。入札等の経過・結果を報告いただき協議をしていきたい。

### 3. 協議事項

（委員長）

一般的な工程表を見せていただきたい。基準に合っていれば何でもいいよという訳にはいかないため、進捗状況等全体の流れを知りたいと思う。

（1）町立辰野総合病院整備事業に係る入札経過及び結果

（事務局）

経過の説明（4月1日公告から落札決定までの流れ）

（委員）

応札者数は適当だったか。

（事務局）

適当だったと思う。

(委員)

事業費のうち補助金はどのくらいか。

(事務局)

6億円を見込んでいる。

(委員)

最低制限価格の算定方法は。

(事務局)

3者→5者に変更している。

87. 6%以上の応札者で算定するが、病院の入札にあつては算定基準を満たした業者は3者のみのため、5者にするために2者ダミーを作つてある。

(委員)

最低入札者が落札しないという事は、一般町民にはどう映るのか。最低制限価格を導入したことはそもそも粗悪工事を防ぐためでもあるが、応札者を見つてみると粗悪工事をするような業者ではないのではないか。

(事務局)

現実、制度に従つて入札を実施しているので、こういう結果は自ずと出てしまうことである。価格に重視するのであれば最低制限価格を撤廃しなければならない。

こういう結果はある程度予測しなければならない。

(委員)

予定価格が高すぎることもあるのか。

(事務局)

設計価格が間違っていない限り予定価格は確かなものである。

(委員)

最低価格者と落札者が億単位で違つたので、聞いてみたところである。

(委員)

入札する方の立場としては、宝くじに当たる感覚みたいなものだ。

(事務局)

調査基準価格を設ける話もあったが、早期着工に取り組むためには調査基準価格を設けてまで工期を2ヶ月、3ヶ月と伸ばす訳にはいかない。

(委員長)

今までにない大きい事業である。

(委員)

ひとつの目安として算定基準である87・6%の数字が出ている以上、的確に積算すれば予定価格とそこまでは乖離しないのではないか。

(事務局)

予定価格を事前に公表をすれば、当然大凡の額に集中し奇異は感じられないと思う。町の入札制度に沿った結果である。

(事務局)

しかしながら、財政負担を考えると価格が低い方が良い。

(委員)

安くれば下請けにしわ寄せがいくこともある。物は考えようである。何でも安ければいいと言うわけでもない。

(委員長)

将来に向けての安心・安全を保障するための砦でもある。経営が厳しくてもいい病院だと言ってもらえるようにしたい。

(委員)

福寿苑も併設しているが、どのようになっていくのか。

(委員)

方法とすれば、指定管理の導入。老健から特養に移行していくなどもあるが、自治体で介護保険事業を持てなくなっている。現状では民間で経営していくなど、ある程度の方向も決めていかななくてはならない。

(委員)

事業の目的は耐震ということもあるが、今回の事業は広域の再編という位置づけもある。

(委員)

医療機器等も入札になるのか。

(事務局)

今回の入札には入っていないが来年度あたり入札があると思う。使える医療機器は既存の病院から持ってくる。

(委員)

設備面でも医者を確保できるかどうかもあるのでは。いかにそこに財政力を投入し続けるかどうかである。

(委員)

財政面では難しいので特色ある病院づくりを願う。

(2) その他

(事務局)

なし。

4. 閉会

第9回入札等審査員会終わり。